

2026年8月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年10月15日
東

上場会社名 株式会社さいか屋 上場取引所
コード番号 8254 URL <https://www.saikaya.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山野井 輝夫
問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 中野 宏治 (TEL) 046 (822) 8003
定時株主総会開催予定日 2026年11月16日 配当支払開始予定日 2026年11月17日
有価証券報告書提出予定日 2026年11月17日
決算補足説明資料作成の有無 : 無
決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年8月期の連結業績(2025年9月1日～2026年8月31日)

(1) 連結経営成績 (%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年8月期	4,591	△0.9	124	8.6	106	△21.8	85	△22.5
2025年8月期	4,632	△6.4	114	3.8	135	35.0	110	51.7

(注1) 包括利益 2026年8月期 88百万円(49.4%) 2025年8月期 174百万円(327.3%)

(注2) 2026年8月期 売上高 4,591百万円 : 対前年同期比 99.1%
営業利益 124百万円 : 対前年同期比 108.6%
経常利益 106百万円 : 対前年同期比 78.2%
親会社株主に帰属する当期純利益 85百万円 : 対前年同期比 77.5%

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2026年8月期	14.79	11.35	7.9	0.9	2.7
2025年8月期	22.26	16.65	15.6	1.1	2.5

(参考) 持分法投資損益 2026年8月期 ー百万円 2025年8月期 ー百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年8月期	12,361	1,358	11.0	93.74
2025年8月期	11,894	791	6.7	10.19

(参考) 自己資本 2026年8月期 1,358百万円 2025年8月期 791百万円

(注) 1株あたりの純資産額は「期末純資産額1,358百万円ー期末発行済優先株式発行価額741百万円ー優先配当額17百万円=599百万円」を、期末発行済株式数(自己株式を除く)で除して算出しております。

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2026年8月期	338	△1,198	371	944
2025年8月期	410	△620	△5	1,434

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2025年8月期	—	—	—	—	—	—	—	—
2026年8月期	—	—	—	5.00	5.00	31	33.8	9.6
2027年8月期(予想)	—	—	—	—	—	—	—	—

- (注 1) 上記「配当の状況」は、普通株式に係る配当の状況です。当社が発行する普通株式と権利関係の異なる種類株式（非上場）の配当の状況については、後述の「種類株式の配当の状況」をご覧ください。
- (注 2) 2026年 8 月期の配当原資には、資本剰余金が含まれています。詳細は、後述の「資本剰余金を配当原資とする配当金の内訳」をご覧ください。

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

当社は、株式会社東京証券取引所の定める上場維持基準への適合に向けた取り組みを進めてまいりましたが、流通株式時価総額の基準を満たすことができず、2026年9月16日付で同取引所より上場廃止の決定の通知を受けております。

これに伴い、今後上場廃止となる予定であり、投資家への情報開示の必要性が低下することから、2027年8月期の業績予想については記載しておりません。

(1) 期中における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更	: 無
② ①以外の会計方針の変更	: 無
③ 会計上の見積りの変更	: 無
④ 修正再表示	: 無

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数

(参考) 個別業績の概要

(1) 個別経営成績 (％表示は対前期増減率)

(2) 個別財政状態

(参考) 自己資本	2026年 8 月期	1,305百万円	2025年 8 月期	740百万円
-----------	------------	----------	------------	--------

2. 2027年8月期の個別業績予想（2026年9月1日～2027年8月31日）

（％表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	
第2四半期(累計)	—	—	—	—	—	—	—	—	円 銭
通 期	—	—	—	—	—	—	—	—	—

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

当社は、株式会社東京証券取引所の定める上場維持基準への適合に向けた取り組みを進めてまいりましたが、流通株式時価総額の基準を満たすことができず、2026年9月16日付で同取引所より上場廃止の決定の通知を受けております。

これに伴い、今後上場廃止となる予定であり、投資家への情報開示の必要性が低下することから、2027年8月期の業績予想については記載しておりません。

○種類株式の配当の状況

普通株式と権利関係の異なる種類株式に係る1株当たり配当金の内訳は以下のとおりです。

A種株式	年間配当金					配当金総額 (合計)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計	
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円
2025年8月期	—	—	—	—	—	—
2026年8月期	—	—	—	11 66	11 66	17
2027年8月期(予想)	—	—	—	—	—	—

内訳

資本剰余金を配当原資とする配当金の内訳

2026年8月の配当金のうち、資本剰余金を配当原資とする配当金の内訳は以下のとおりです。

基準日	期末	合計
1株当たりの配当金	5円00銭	5円00銭
配当金総額	31百万円	31百万円

(注) 純資産減少割合 0.007

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	2
(4) 今後の見通し	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	3
3. 連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 連結貸借対照表	4
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	6
連結損益計算書	6
連結包括利益計算書	7
(3) 連結株主資本等変動計算書	8
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	9
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(会計方針の変更に関する注記)	10
(会計上の見積りの変更)	10
(セグメント情報等)	11
(1株当たり情報)	14
(重要な後発事象)	14
4. 補足情報	15

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当社グループは、2023年8月期に9期ぶりに黒字に転換し、2026年8月期まで4期連続の黒字でのV字回復を達成いたしました。今期におきましては、「百貨店事業」「テナント事業」を重点的に推進すると共に、再生後の新たな企業価値向上に向け、「資本構造の健全化」及び「配当再開の検討」をさし示すべく「資本構造の見直し」をおこないました。

資本構造の見直しにおきましては、利益剰余金の欠損を解消、今期より配当が可能となり、今期末として5円の配当を予定しております。また、株式会社AFC-HDアムスライフサイエンスとEVO FUNDを対象とした第三者割当にて資金調達をおこない、収益構造の改善を実行するとともに、流通株式時価総額を増加いたしました。更に、2026年6月18日及び2026年7月29日に公表のとおり、上記の配当による還元に加え、機動的な資本政策の遂行及び株主還元の拡充を図るとともに、株式価値の向上を目指すため、自己株式の取得をおこないました。

上記のことから、当社の当連結会計期間の業績においては、売上高4,591百万円（前年同期比99.1%）、営業利益124百万円（前年同期比108.6%）、経常利益106百万円（前年同期比78.2%）、親会社株主に帰属する当期純利益85百万円（前年同期比77.5%）となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

（百貨店事業）

百貨店ゾーンにおきましては、2026年5月28日に「ラウンドワンさいか屋横須賀店」がオープンしたことにより、入店客数が増加しており、テナントゾーンとのシナジー効果が発揮されております。さらに、藤沢店では、2026年7月10日に「マツモトキヨシ さいか屋藤沢店」がオープンし、店舗内の回遊性や滞在時間の延伸につなげるとともに、同フロアのイベントスペースにて物産展等の催事企画を開催することにより、シナジー効果の向上に努めております。

以上の結果、売上高は4,582百万円（前年同期比99.1%）、営業利益は626百万円（前年同期比94.0%）となりました。

（不動産事業）

不動産事業においては、引き続きアパート事業など、着実に収益を上げております。

以上の結果、売上高は8百万円（前年同期比97.0%）、営業利益は3百万円（前年同期実績△2百万円）となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

当連結会計年度末の財政状態に関し、総資産については、前連結会計年度末に比べ467百万円増加し12,361百万円となりました。

負債については、前連結会計年度末に比べ98百万円減少し、11,003百万円となりました。

純資産については、前連結会計年度末に比べ566百万円増加し1,358百万円となりました。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度における現金及び現金同等物は、前連結会計年度に比べ489百万円減少し、944百万円となりました。

営業活動によるキャッシュ・フローは、338百万円の収入（前連結会計年度は410百万円の収入）となりました。主な収入項目は、減価償却費377百万円、主な支出項目は、利息の支払額121百万円等によるものであります。

投資活動によるキャッシュ・フローは、1,198百万円の支出（前連結会計年度は620百万円の支出）となりました。主な支出項目は、有形固定資産の取得による支出1,128百万円等によるものであります。

財務活動によるキャッシュ・フローは371百万円の収入（前連結会計年度は5百万円の支出）となりました。主な収入項目は、新株の発行による収入652百万円、主な支出項目は、自己株式の購入による支出174百万円及び、長期借入の返済による支出106百万円等によるものであります。

(参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2022年8月期	2023年8月期	2024年8月期	2025年8月期	2026年8月期
自己資本比率 (%)	5.0	4.7	5.2	6.7	11.0
時価ベースの自己資本比率 (%)	11.8	15.7	20.6	19.8	14.8
キャッシュ・フロー対有利子負債比率 (年)	85.2	23.6	33.3	21.1	25.3
インタレスト・カバレッジ・レシオ (倍)	7.7	13.9	7.6	6.0	2.8

- ・自己資本比率：自己資本／総資産
- ・時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産
- ・キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／キャッシュ・フロー
- ・インタレスト・カバレッジ・レシオ：営業キャッシュ・フロー／利払い

注) 1. 各指標は、いずれも連結ベースの財務数値により計算しております。

2. 株式時価総額は、自己株式を除く発行済株式数をベースに計算しております。

3. キャッシュ・フローは、営業キャッシュ・フローを使用しております。有利子負債は、連結貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っている全ての負債を対象としております。また、利払いにつきましては、連結キャッシュ・フロー計算書の利息の支払額を使用しております。

(4) 今後の見通し

今期で4期連続の黒字を達成し、継続的な黒字化を維持できる経営体制を構築することができましたが、今後更に利益の増大を図るためには、一段の改革を推し進める必要があると考えております。

計画どおり空き区画が埋まったことで、安定的な賃料収入による収益を確保できましたが、更なる収益拡大に向けては、2026年4月1日付「中期経営計画策定のお知らせ」に記載の通り、次なる段階として「新規テナント誘致」「飲食フロア強化」「川崎地区復活」を骨子とし、更なる収益力の強化を推し進めるとともに、テナントと百貨店ゾーンのシナジー効果を最大限発揮させるため、全社的な店舗の再編による百貨店ゾーンの売上増大を図ってまいります。また、外商部門におきましては、引き続き高収益商品の販売強化を図るとともに、新規顧客（法人・個人）へのアプローチを強化してまいります。

費用面におきましては、従来より取り組んでおりますローコストオペレーションを一段と推進し、各種経費の削減と合理化を通じて、より効果的な経費運用に努めてまいります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは日本基準を適用しております。将来の I F R S（国際財務報告基準）の適用について、国内外の動向も踏まえて、適切に対応していく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年8月31日)	当連結会計年度 (2026年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,434,255	944,882
売掛金	276,241	278,111
商品	180,487	126,181
販売用不動産	141,991	137,575
貯蔵品	68,249	57,319
その他	85,664	307,782
流動資産合計	2,186,889	1,851,853
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,416,479	3,070,088
土地	4,878,557	5,265,189
リース資産（純額）	289	—
建設仮勘定	48,806	145,099
その他（純額）	21,669	23,816
有形固定資産合計	7,365,802	8,504,193
無形固定資産		
ソフトウェア	28,666	20,588
無形固定資産合計	28,666	20,588
投資その他の資産		
投資有価証券	288,395	292,620
長期貸付金	15,000	—
敷金及び保証金	1,383,755	1,290,257
破産更生債権等	12,286	12,286
長期前払費用	563,322	402,152
その他	62,175	205
貸倒引当金	△12,270	△12,270
投資その他の資産合計	2,312,665	1,985,251
固定資産合計	9,707,134	10,510,032
資産合計	11,894,024	12,361,886

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年8月31日)	当連結会計年度 (2026年8月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	594,274	554,949
1年内返済予定の長期借入金	8,005,904	8,530,904
未払法人税等	17,127	28,088
賞与引当金	16,091	13,912
契約負債	655,475	607,786
株主優待引当金	1,535	4,137
その他	258,986	200,344
流動負債合計	9,549,394	9,940,123
固定負債		
長期借入金	647,632	16,236
退職給付に係る負債	219,589	216,708
役員退職慰労引当金	—	3,460
資産除去債務	270,127	274,793
繰延税金負債	2,703	3,996
その他	412,587	548,169
固定負債合計	1,552,639	1,063,365
負債合計	11,102,034	11,003,488
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,195,768	936,088
資本剰余金	1,860,578	493,404
利益剰余金	△3,227,104	137,396
自己株式	△43,384	△217,556
株主資本合計	785,857	1,349,333
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	6,132	9,064
その他の包括利益累計額合計	6,132	9,064
純資産合計	791,990	1,358,397
負債純資産合計	11,894,024	12,361,886

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

連結損益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2024年 9 月 1 日 至 2025年 8 月31日)	当連結会計年度 (自 2025年 9 月 1 日 至 2026年 8 月31日)
売上高	4,632,926	4,591,675
売上原価	2,337,735	2,401,827
売上総利益	2,295,190	2,189,847
販売費及び一般管理費		
販売費	119,456	105,093
広告宣伝費	102,524	97,015
給料及び手当	621,180	601,868
賞与	25,838	22,566
賞与引当金繰入額	2,104	△2,178
退職給付費用	21,369	20,497
役員退職慰労引当金繰入額	—	3,460
その他の人件費	112,376	101,333
地代家賃	349,387	321,065
委託作業費	194,453	190,439
減価償却費	245,834	253,033
株主優待引当金繰入額	1,535	2,601
その他	384,358	348,453
販売費及び一般管理費合計	2,180,419	2,065,250
営業利益	114,771	124,596
営業外収益		
受取利息	1,978	3,653
受取配当金	5,371	8,722
受取手数料	968	890
ポイント調整費	4,600	773
固定資産受贈益	79,223	74,141
その他	4,160	1,467
営業外収益合計	96,302	89,649
営業外費用		
支払利息	74,618	108,033
その他	852	135
営業外費用合計	75,471	108,169
経常利益	135,602	106,077
特別利益		
固定資産売却益	—	5,122
特別利益合計	—	5,122
特別損失		
事業構造改善費用	19,949	—
特別損失合計	19,949	—
税金等調整前当期純利益	115,652	111,199
法人税、住民税及び事業税	5,397	25,729
法人税等合計	5,397	25,729
当期純利益	110,255	85,470
親会社株主に帰属する当期純利益	110,255	85,470

連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2024年9月1日 至 2025年8月31日)	当連結会計年度 (自 2025年9月1日 至 2026年8月31日)
当期純利益	110,255	85,470
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	64,580	2,932
その他の包括利益合計	64,580	2,932
包括利益	174,835	88,402
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	174,835	88,402
非支配株主に係る包括利益	—	—

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2024年9月1日 至 2025年8月31日)

(単位：千円)

	株主資本					その他の包括利益累計額		純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券 評価差額金	その他の 包括利益 累計額合計	
当期首残高	2,195,768	1,887,556	△3,364,338	△43,348	675,638	△58,447	△58,447	617,190
当期変動額								
新株の発行								
新株の発行(新株予約 権の行使)								
その他資本剰余金から 利益剰余金へ振替		△26,977	26,977		—			—
資本金から資本剰余 金への振替								
資本剰余金の取崩に よる欠損填補								
親会社株主に帰属す る当期純利益			110,255		110,255			110,255
自己株式の取得				△35	△35			△35
株主資本以外の項目 の当期変動額(純 額)						64,580	64,580	64,580
当期変動額合計	—	△26,977	137,233	△35	110,219	64,580	64,580	174,800
当期末残高	2,195,768	1,860,578	△3,227,104	△43,384	785,857	6,132	6,132	791,990

当連結会計年度(自 2025年9月1日 至 2026年8月31日)

(単位：千円)

	株主資本					その他の包括利益累計額		純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券 評価差額金	その他の 包括利益 累計額合計	
当期首残高	2,195,768	1,860,578	△3,227,104	△43,384	785,857	6,132	6,132	791,990
当期変動額								
新株の発行	420,000				420,000			420,000
新株の発行(新株予約 権の行使)	116,088	116,088			232,176			232,176
その他資本剰余金から 利益剰余金へ振替								
資本金から資本剰余 金への振替	△1,795,768	1,795,768			—			—
資本剰余金の取崩に よる欠損填補		△3,279,031	3,279,031		—			—
親会社株主に帰属す る当期純利益			85,470		85,470			85,470
自己株式の取得				△174,172	△174,172			△174,172
株主資本以外の項目 の当期変動額(純 額)						2,932	2,932	2,932
当期変動額合計	△1,259,679	△1,367,174	3,364,501	△174,172	563,475	2,932	2,932	566,407
当期末残高	936,088	493,404	137,396	△217,556	1,349,333	9,064	9,064	1,358,397

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2024年9月1日 至 2025年8月31日)	当連結会計年度 (自 2025年9月1日 至 2026年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	115,652	111,199
減価償却費	347,032	377,875
株主優待引当金の増減額 (△は減少)	1,535	2,601
賞与引当金の増減額 (△は減少)	2,104	△2,178
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△15,421	△2,880
受取利息及び受取配当金	△7,350	△12,376
支払利息	74,618	108,033
事業構造改善費用	19,949	—
固定資産売却損益 (△は益)	—	△5,122
売上債権の増減額 (△は増加)	9,275	△1,870
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△45,951	69,651
仕入債務の増減額 (△は減少)	△43,303	△39,324
未払消費税等の増減額 (△は減少)	21,398	△45,969
未払費用の増減額 (△は減少)	△11,160	△15,760
預り敷金及び保証金の増減額 (△は減少)	32,163	121,242
契約負債の増減額 (△は減少)	△144,495	△47,688
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	—	3,460
その他	121,752	△166,134
小計	477,801	454,757
利息及び配当金の受取額	7,092	11,482
利息の支払額	△68,393	△121,824
法人税等の支払額	△6,253	△6,089
営業活動によるキャッシュ・フロー	410,246	338,326
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△499,340	△1,128,330
有形固定資産の売却による収入	766	5,122
無形固定資産の取得による支出	△200	△2,800
差入保証金の差入による支出	△21,658	△20,785
差入保証金の回収による収入	30,466	47,543
長期前払費用の取得による支出	△130,379	△99,740
投資活動によるキャッシュ・フロー	△620,345	△1,198,990
財務活動によるキャッシュ・フロー		
リース債務の返済による支出	△3,814	△317
長期借入金の返済による支出	△1,464	△106,396
新株の発行による収入	—	652,167
新株予約権の発行による収入	—	9
自己株式の購入による支出	△35	△174,172
財務活動によるキャッシュ・フロー	△5,314	371,290
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△215,413	△489,373
現金及び現金同等物の期首残高	1,649,669	1,434,255
現金及び現金同等物の期末残高	1,434,255	944,882

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更に関する注記)

該当事項はありません。

(会計上の見積りの変更)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

(1) 報告セグメントの決定方法

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、製品及びサービスの種類別に事業を展開しており、「百貨店事業」及び「不動産事業」の2つの報告セグメントとしております。

(2) 各報告セグメントに属する製品及びサービスの種類

「百貨店事業」は主として衣料品、食品等の販売を行っております。「不動産事業」は保有する物件の賃貸を行っています。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表において採用されている会計処理の方法と概ね同一であります。報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

3. 報告セグメント毎の売上高及び利益の金額に関する情報

I 前連結会計年度(自 2024年9月1日 至 2025年8月31日)

1. 報告セグメント毎の売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	連結損益 計算書計上額 (注) 2
	百貨店 事業	不動産 事業	計		
売上高					
外部顧客への 売上高	4,623,963	8,963	4,632,926	—	4,632,926
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	4,623,963	8,963	4,632,926	—	4,632,926
セグメント利益 又は損失 (△)	666,038	△2,613	663,425	△548,653	114,771
その他の項目					
減価償却費	193,233	—	193,233	153,799	347,032

(注) 1. セグメント利益又は損失 (△) の調整額△548,653千円は管理部門に係る全社費用の内、各報告セグメントに配賦していない費用等であります。

2. セグメント利益又は損失 (△) は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. セグメント資源は、事業セグメントに資産を配分していないため記載しておりません。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

(報告セグメントの変更)

当社は、自主運営ショップの拡大、大型テナント誘致等により、2期連続の黒字を達成しましたが、さらに当連結会計年度より百貨店事業を補完する事業として不動産事業（アパート事業等）を開始、業績管理区分を追加いたしました。

これに伴い、従来「百貨店事業」のみの単一セグメントを、当連結会計年度から「百貨店事業」「不動産事業」の2つのセグメントに変更いたしました。

Ⅱ 当連結会計年度(自 2025年9月1日 至 2026年8月31日)

1. 報告セグメント毎の売上高及び利益の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	連結損益 計算書計上額 (注) 2
	百貨店 事業	不動産 事業	計		
売上高					
外部顧客への 売上高	4,582,983	8,691	4,591,675	—	4,591,675
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	4,582,983	8,691	4,591,675	—	4,591,675
セグメント利益	626,049	3,142	629,191	△504,595	124,596
その他の項目					
減価償却費	236,788	—	236,788	141,086	377,875

(注) 1. セグメント利益の調整額△504,595千円は管理部門に係る全社費用の内、各報告セグメントに配賦していない費用等であります。

2. セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. セグメント資源は、事業セグメントに資産を配分していないため記載しておりません。

【関連情報】

前連結会計年度(自 2024年9月1日 至 2025年8月31日)

1 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦以外の外部顧客への売上高がないため、該当事項はありません。

(2) 有形固定資産

本邦以外に所在している有形固定資産がないため、該当事項はありません。

2 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、連結損益計算書の売上高の10%を占める相手先がないため、記載はありません。

当連結会計年度(自 2025年9月1日 至 2026年8月31日)

1 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦以外の外部顧客への売上高がないため、該当事項はありません。

(2) 有形固定資産

本邦以外に所在している有形固定資産がないため、該当事項はありません。

2 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、連結損益計算書の売上高の10%を占める相手先がないため、記載はありません。

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

前連結会計年度(自 2024年9月1日 至 2025年8月31日)

該当事項はありません。

当連結会計年度(自 2025年9月1日 至 2026年8月31日)

該当事項はありません。

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

前連結会計年度(自 2024年9月1日 至 2025年8月31日)

該当事項はありません。

当連結会計年度(自 2025年9月1日 至 2026年8月31日)

該当事項はありません。

【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

前連結会計年度(自 2024年9月1日 至 2025年8月31日)

該当事項はありません。

当連結会計年度(自 2025年9月1日 至 2026年8月31日)

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2024年9月1日 至 2025年8月31日)	当連結会計年度 (自 2025年9月1日 至 2026年8月31日)
1株当たり純資産額	10.19円	93.74円
1株当たり当期純利益	22.26円	14.79円
潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	16.65円	11.35円

(注) 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下の通りであります。

	前連結会計年度 (自 2024年9月1日 至 2025年8月31日)	当連結会計年度 (自 2025年9月1日 至 2026年8月31日)
親会社株主に帰属する当期純利益 (千円)	110,255	85,470
普通株主に帰属しない金額 (千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益 (千円)	110,255	85,470
期中平均株式数 (千株)	4,954	5,778

(重要な後発事象)

当社は、藤沢市と共同で運営しておりました持分法非適用の関連会社である「藤沢市民会館サービス・センター株式会社」(以下、藤沢市民会館サービス・センター)について、2026年9月9日をもって清算手続きが完了し、残余財産の分配(みなし配当を含む)を受領いたしました。

1. 該当会社の概要

- (1) 名 称 藤沢市民会館サービス・センター株式会社
- (2) 所在地 神奈川県藤沢市鵠沼東8番1号
- (3) 代表者 岡本 洋三
- (4) 事業内容 公共施設の維持管理・運営、および催事の企画運営
- (5) 資本金 10,000千円
- (6) 出資比率 当社48%、藤沢市52%

2. 清算の経緯及び理由

当社及び藤沢市は、藤沢市民会館サービス・センターを共同で運営してまいりましたが、事業環境の変化等に伴い、両者協議のうえ解散及び清算手続きを進めてまいりました。今般、残余財産の確定及び分配手続きが完了し清算終了いたしました。

3. 残余財産の分配額及び損益に与える影響

- (1) 当社受領額 44,736千円
- (2) 清算終了日 2026年9月9日
- (3) 当該分配に伴い、翌連結会計年度において関連会社清算益39,936千円を特別利益に計上する見込みであります。

4. 補足情報

(1) 連結売上高の内訳

	前連結会計年度 (自 2024年9月1日 至 2025年8月31日)		当連結会計年度 (自 2025年9月1日 至 2026年8月31日)		前年増減・対比	
	売上高 (千円)	構成比 (%)	売上高 (千円)	構成比 (%)	前年増減額 (千円)	前年対比 (%)
㈱さいか屋	4,633,972	97.3	4,592,675	97.8	△41,297	99.1
アルファトレンド㈱	126,361	2.7	104,092	2.2	△22,269	82.4
㈱さいか屋友の会	1,105	0.0	922	0.0	△182	83.5
小 計	4,761,439	100.0	4,697,690	100.0	△63,749	98.7
内部売上高の消去	△128,512	—	△106,014	—	22,497	—
合 計	4,632,926	—	4,591,675	—	△41,251	—

(2) 店別売上高(単体)

	前連結会計年度 (自 2024年9月1日 至 2025年8月31日)		当連結会計年度 (自 2025年9月1日 至 2026年8月31日)		前年増減・対比	
	売上高 (千円)	構成比 (%)	売上高 (千円)	構成比 (%)	前年増減額 (千円)	前年対比 (%)
藤沢店	1,732,383	46.8	1,759,559	48.1	27,175	101.6
横須賀店	1,254,330	33.8	1,177,839	32.2	△76,491	93.9
川崎店	717,866	19.4	723,079	19.7	5,213	100.7
小 計	3,704,580	100.0	3,660,478	100.0	△44,102	98.8
テナント及び手数料収入	929,391	—	932,197	—	2,805	—
合 計	4,633,972	—	4,592,675	—	△41,297	—